

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

— 校訓 —

「やさしく あかるく かしこく」 優しく、元気で、よく学ぶ 南っ子の育成

目指す学校像

- ★児童も職員もやりがいを感じ、笑顔輝く学校
- ★確かな学力、健やかな心身を育む学校
- ★安全・安心で、信頼される学校

目指す児童像

- ★自他のよさを認め合い、思いやりのある子
- ★心身ともにたくましく、元気な子
- ★自ら学び、深め、表現し創造する子

目指す教師像

- ★受容と共感の姿勢で児童に寄り添う教師
- ★向上心を持ち、指導力向上に努める教師
- ★協働し学校づくりに主体的に関わる教師

(2) 経営方針

全教職員の共通理解と協働体制のもと、児童・教職員がともに自分らしく生き生きとチャレンジし、思いを実現できる学校を目指す。

- 児童理解に努め、一人一人のよさを認めるとともに、自他を大切にする心豊かな児童の育成を目指す。
- 研修の充実を通して教師の指導力向上を図り、主体的に学ぶ楽しさを実感できる授業を展開し、表現力及び創造力の育成に努める。
- 安全・安心な環境整備と心身の健康づくりを推進するとともに、危機管理体制の充実を図り、主体的に安全に行動できる児童を育成する。

(3) 今年度の重点目標

ア 豊かな心と健やかな体の育成

- ・ 気持ちのよい、爽やかな挨拶が自然にかわされるよう指導する。
- ・ 思いやりや感謝など、心が通い合う言葉を大切にし、互いを認め合う態度を育成する。

イ 確かな学力の育成

- ・ 分かる喜びや対話する楽しさを実感できる授業を展開する。
- ・ 現職教育を充実させ、協働的に学び合いながら指導力の向上を図る。

ウ 教育活動の質の向上

- ・ 学校行事や集会活動、各学年の様々な活動について、その意義を再確認し、より効果的な実施方法を検討して、教育活動の活性化を図る。

エ 安全・安心な学校づくりの推進

- ・ 各種マニュアルの整備と訓練の充実を図り、危機対応力を高めるとともに、命を大切にする態度と実践力を育成する。

オ 児童支援体制の充実

- ・ 教育相談やケース会議、職員間の情報共有を通して、組織的な児童理解を推進する。
- ・ 悩みを抱える児童への理解を深め、通級指導教室やほっとルームの運営を通して、居場所づくりと絆づくりに努める。
- ・ SSW、SC、SR、心の相談員、作業療法士、Nハウス、市行政機関、特別支援学校等の関係機関との連携を強化し、支援の質の向上を図る。

カ 学校運営の改善と働き方改革の推進

- ・ 校務の効率化・充実化を図り、教職員が協働して心身にゆとりをもって職務を遂行できる体制づくりに努める。
- ・ ホームページ等を活用するなど学校の様子や教育活動の意図を積極的に発信し、信頼される学校づくりに努める。